

株 主 各 位

平成28年6月3日
京都市伏見区竹田鳥羽殿町6番地**京セラ株式会社**

代表取締役社長 山 口 悟 郎

第62期 定時株主総会招集ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申しあげます。

さて、当社第62期定時株主総会を下記のとおり開催いたしますので、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

なお、当日ご出席願えない場合は、書面（議決権行使書）または電磁的方法（インターネット等）によって議決権を行使することができますので、お手数ながら後記の株主総会参考書類をご検討のうえ、平成28年6月23日（木曜日）午後5時30分までに議決権を行使していただきますようお願い申し上げます。

敬 具

記

1. 日 時 平成28年6月24日（金曜日）午前10時（午前9時受付開始）
2. 場 所 京都市伏見区竹田鳥羽殿町6番地
当社20階大ホール（末尾の「会場ご案内図」をご参照ください。）
3. 目的事項
報告事項
 1. 第62期（平成27年4月1日から平成28年3月31日まで）事業報告の内容、連結計算書類の内容並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
 2. 第62期（平成27年4月1日から平成28年3月31日まで）計算書類の内容報告の件
決議事項

第1号議案	剰余金の処分の件
第2号議案	取締役6名選任の件
第3号議案	監査役4名選任の件

4. 議決権行使についてのご案内

(1) 書面（議決権行使書）により議決権を行使する方法

同封の議決権行使書用紙に議案に対する賛否をご表示いただき、前記の行使期限までに到着するようご返送ください。

(2) 電磁的方法（インターネット等）により議決権を行使する方法

パソコン、スマートフォンまたは携帯電話から議決権行使サイト（<http://www.evote.jp/>）にアクセスしていただき、同封の議決権行使書用紙に記載の「ログインID」及び「仮パスワード」をご利用のうえ、画面の案内に従って、前記の行使期限までに議案に対する賛否をご入力ください。

なお、インターネット等による議決権の行使に際しましては、後記の「インターネット等による議決権行使のお手続きについて」（9頁及び10頁）を必ずご確認くださいいただきますようお願い申し上げます。

【議決権を複数回行使された場合のお取り扱い】

- ①書面（議決権行使書）と電磁的方法（インターネット等）の両方で議決権を行使された場合は、電磁的方法（インターネット等）による議決権の行使を有効な議決権の行使としてお取り扱いさせていただきます。
- ②電磁的方法（インターネット等）により議決権を複数回行使された場合は、最後に行われたものを有効な議決権の行使としてお取り扱いさせていただきます。

以 上

~~~~~  
◎当日ご出席の際は、お手数ながら同封の議決権行使書用紙を会場受付にご提出くださいますようお願い申し上げます。

◎第62期定時株主総会招集ご通知添付書類は、同封の「第62期報告書」に記載しております。ただし、「連結計算書類の連結注記表」及び「計算書類の個別注記表」につきましては、法令及び当社定款の規定に基づき、当社ウェブサイト（[http://www.kyocera.co.jp/ir/s\\_info.html](http://www.kyocera.co.jp/ir/s_info.html)）に掲載することにより株主の皆様を提供しております。

なお、「連結計算書類の連結注記表」及び「計算書類の個別注記表」は、監査報告の作成に際して、監査役及び会計監査人が監査をした連結計算書類及び計算書類の一部であります。

◎株主総会参考書類並びに事業報告、計算書類及び連結計算書類に修正が生じた場合は、当社ウェブサイト（[http://www.kyocera.co.jp/ir/s\\_info.html](http://www.kyocera.co.jp/ir/s_info.html)）に掲載させていただきます。

# 株主総会参考書類

## 議案及び参考事項

### 第1号議案 剰余金の処分の件

当社は、将来にわたり連結業績の向上を図ることが企業価値を高め、株主の皆様の期待に応えることになると考えております。

従って、配当につきましては、連結業績の「当社株主に帰属する当期純利益」の範囲を目安とすることを原則とし、連結配当性向を30%以上の水準で維持する配当方針としております。併せて、中長期の企業成長を図るために必要な投資額等を考慮し、総合的な判断により配当金額をご提案することとしております。

第62期の期末配当は、通期の業績及び上記配当方針を踏まえたうえで、1株当たり50円といたしたいと存じます。これにより、年間の配当金は中間配当50円と合わせて前期と同額の1株当たり100円となります。

また、安定的かつ持続的な企業成長のため、新事業・新市場の創造、新技術の開発及び必要に応じた外部経営資源の獲得に備える内部留保資金を勘案し、別途積立金を積み立てたいと存じます。

つきましては、剰余金の処分を次のとおりといたしたいと存じます。

#### 1. 期末配当に関する事項

##### (1) 配当財産の種類

金銭

##### (2) 株主に対する配当財産の割当てに関する事項及びその総額

当社普通株式1株につき金50円 総額 18,342,853,850円

##### (3) 剰余金の配当が効力を生じる日

平成28年6月27日

#### 2. 別途積立金の積立に関する事項

##### (1) 増加する剰余金の項目及びその額

別途積立金 37,000,000,000円

##### (2) 減少する剰余金の項目及びその額

繰越利益剰余金 37,000,000,000円

## 第2号議案 取締役6名選任の件

次の理由により、取締役6名の選任をお願いするものであります。

### 1. 取締役（独立社外取締役を除く）の選任

当社は、各部門のリーダーの中から、当社グループの事業を十分に理解した取締役を選任することとしております。今般の選任は、昨年3月から本年3月までに退任した4名の取締役の補充を行うとともに、当社グループの経営体制の強化を図るため1名を加え、新たに5名の選任をお願いするものであります。

### 2. 独立社外取締役の選任

当社では、2名の社外取締役が経営陣に対する監督を行う体制としておりますが、今般、さらに独立した社外取締役1名の増員をお願いするものであります。これにより、昨年6月に東京証券取引所が制定したコーポレートガバナンス・コード（原則4-8）で求められる独立社外取締役2名以上の体制を確保いたします。

なお、当社定款第21条第2項の規定により、本総会において選任いただく取締役の任期は、在任取締役の任期の満了する時までとなります。

取締役候補者は、次のとおりであります。

| 候補者番号  | 氏名<br>(生年月日)                      | 略歴、地位、担当及び重要な兼職の状況                                                                                                                                                            | 所有する当社株式の数 |
|--------|-----------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|
| 1<br>※ | く き たかし<br>九 鬼 隆<br>(昭和32年5月15日生) | 昭和57年3月 当社入社<br>平成15年10月 京セラミタ(株) (現 京セラドキュメントソリューションズ(株)) 営業本部長<br>平成27年4月 当社執行役員就任<br>京セラドキュメントソリューションズ(株)<br>代表取締役社長就任 [現在]<br>平成28年4月 当社執行役員常務就任 [現在]                     | 1,781株     |
|        | 取締役候補者とした理由                       | 九鬼 隆氏は、当社入社以来、情報機器関連事業において国内外の営業を担当し、平成27年からは当社子会社の京セラドキュメントソリューションズ(株)の代表取締役社長として情報機器関連事業のグローバルな成長・発展に貢献しています。こうした経験及び高い見識を活かし、当社取締役としての職務を適切に遂行できる人材と判断したため、取締役候補者といいたしました。 |            |

| 候補者番号  | 氏名<br>(生年月日)                                  | 略歴、地位、担当及び重要な兼職の状況                                                                                                                                                           | 所有する<br>当社株式の数 |
|--------|-----------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| 2<br>※ | たに もと ひで お<br><b>谷 本 秀 夫</b><br>(昭和35年3月18日生) | 昭和57年3月 当社入社<br>平成26年4月 当社ファインセラミック事業本部長<br>[現在]<br>平成27年4月 当社執行役員就任<br>平成28年4月 当社執行役員常務就任 [現在]                                                                              | 1,693 株        |
|        | 取締役候補者とした理由                                   | 谷本秀夫氏は、当社入社以来、ファインセラミックの技術・製造を担当し、平成26年からは当社ファインセラミック事業本部長として同事業の成長・発展に貢献しています。こうした経験及び高い見識を活かし、当社取締役としての職務を適切に遂行できる人材と判断したため、取締役候補者といいたしました。                                |                |
| 3<br>※ | か の こう いち<br><b>嘉 野 浩 市</b><br>(昭和36年9月21日生)  | 昭和60年3月 当社入社<br>平成17年6月 当社回路部品事業部長<br>平成24年4月 当社関連会社統轄本部（現 関連会社統括本部）長 [現在]<br>平成25年4月 当社執行役員就任<br>平成27年4月 当社執行役員上席就任<br>平成28年4月 当社執行役員常務就任 [現在]                              | 3,055 株        |
|        | 取締役候補者とした理由                                   | 嘉野浩市氏は、当社入社以来、電子部品の海外営業、製造事業部長を担当し、平成24年からは関連会社統括本部長として国内外の子会社への適切な運営指導により、その成長・発展に貢献しています。こうした経験及び高い見識を活かし、当社取締役としての職務を適切に遂行できる人材と判断したため、取締役候補者といいたしました。                    |                |
| 4<br>※ | <b>ジョン・サービス</b><br>(昭和25年3月4日生)               | 昭和48年12月 AVX CORPORATION 入社<br>平成17年3月 AVX CORPORATION オフィサー<br>(セラミック部門) 就任<br>平成27年4月 AVX CORPORATION 取締役、最高<br>経営責任者兼社長就任 [現在]                                            | (1,812 ADR)    |
|        | 取締役候補者とした理由                                   | ジョン・サービス氏は、当社の米国子会社AVX CORPORATIONの主要事業であるセラミックコンデンサ部門担当のオフィサーを長年務め、平成27年からは取締役、最高経営責任者兼社長として同社の成長・発展に貢献しています。こうした経験及び高い見識を活かし、当社取締役としての職務を適切に遂行できる人材と判断したため、取締役候補者といいたしました。 |                |

| 候補者番号  | 氏名<br>(生年月日)                      | 略歴、地位、担当及び重要な兼職の状況                                                                                                                                                                                | 所有する当社株式の数  |
|--------|-----------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|
| 5<br>※ | ロバート・ウィスラー<br>(昭和28年2月17日生)       | 昭和56年3月 KYOCERA AMERICA, INC. 入社<br>平成12年9月 KYOCERA AMERICA, INC. 取締役社長就任<br>平成17年6月 当社執行役員就任 [現在]<br>平成28年4月 KYOCERA INTERNATIONAL, INC. 取締役社長就任 [現在]                                            | (3,573 ADR) |
|        | 取締役候補者とした理由                       | ロバート・ウィスラー氏は、当社の米国子会社KYOCERA AMERICA, INC.の取締役社長として、長年同社の半導体パッケージ事業の成長・発展に貢献し、本年から北米統括会社である、KYOCERA INTERNATIONAL, INC.の取締役社長を務めています。こうした経験及び高い見識を活かし、当社取締役としての職務を適切に遂行できる人材と判断したため、取締役候補者いたしました。 |             |
| 6<br>※ | あお やま あつし<br>青山 敦<br>(昭和35年8月2日生) | 昭和60年4月 (株)三菱総合研究所入社<br>平成7年5月 ロンドン大学インペリアルカレッジ研究員<br>平成11年10月 東京工業大学資源化学研究所助教授就任<br>平成17年4月 立命館大学大学院テクノロジー・マネジメント研究科教授就任 [現在]                                                                    | 0株          |
|        | 社外取締役候補者とした理由                     | 青山 敦氏は、技術開発やイノベーションの創出を重視する企業を研究する技術経営の分野での豊富な知識・経験と高い見識を有していることから、当社社外取締役として企業活動全般にわたる助言と監督が期待できると判断し、社外取締役候補者いたしました。                                                                            |             |

- (注) 1. 候補者番号欄の※印は、新任の取締役候補者であります。
2. 取締役候補者 ジョン・サービス氏は、AVX CORPORATIONの取締役、最高経営責任者兼社長であり、同社と当社との間には電子部品等の販売・仕入に関する取引関係があります。
3. 上記以外の取締役候補者と当社との間に特別の利害関係はありません。
4. 取締役候補者の所有する当社株式の数は、平成28年3月31日現在のものであります。この株式数には、京セラグループ役員持株会における本人の持分を含めております。
5. 取締役候補者のうち、当社米国預託証券（ADR）により、実質的に当社株式を所有する者は、次のとおりであります。
- |             |                   |
|-------------|-------------------|
| ジョン・サービス氏   | 1,812株 (1,812ADR) |
| ロバート・ウィスラー氏 | 3,573株 (3,573ADR) |
6. 社外取締役候補者に関する事項は、以下のとおりであります。
- (1) 青山 敦氏は、社外取締役候補者であります。
- (2) 青山 敦氏の選任が承認された場合には、当社は、会社法及び当社定款の規定により、同氏との間に、任務を怠ったことによる損害賠償責任を限定する契約を締結する予定であります。当該契約に基づく責任の限度額は、法令に定める最低責任限度額であります。
- (3) 青山 敦氏の選任が承認された場合には、当社は同氏を、東京証券取引所が定める独立役員に指定する予定であります。

### 第3号議案 監査役4名選任の件

本総会終結の時をもって、監査役 西枝 攻、安田喜憲及び稲田二千武の各氏の任期が満了し、また、監査役 鹿野好弘、前 耕司及び古家野泰也の各氏が辞任されま  
す。つきましては、監査役4名の選任をお願いするものであります。候補者のうち  
原田 斉及び秋山正明の両氏は財務及び会計に関する相当程度の知見を有しており、  
これにより、コーポレートガバナンス・コード（原則4-11）で求められる財務・会  
計に関する適切な知見を有する監査役を確保いたします。

なお、本議案に関しましては、監査役会の同意を得ております。

監査役候補者は、次のとおりであります。

| 候補者<br>番号 | 氏 名<br>(生年月日)                       | 略歴、地位及び重要な兼職の状況                                                                                                                                                  | 所有する<br>当社株式の数 |
|-----------|-------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| 1         | にし えだ おさむ<br>西 枝 攻<br>(昭和18年1月10日生) | 昭和50年4月 弁護士登録、大阪弁護士会所属 [現在]<br>昭和61年2月 当社顧問弁護士 [現在]<br>平成5年6月 当社監査役就任 [現在]                                                                                       | 579,513株       |
|           | 監査役候補者とした理由                         | 西枝 攻氏は、弁護士としての豊富な経験と高い見識を有するとともに、当社監査役就任以来、当社の企業活動全般にわたる的確な監査をいただいていることから、引き続き当社監査役として企業活動全般にわたる監査が期待できると判断し、監査役候補者いたしました。                                       |                |
| 2<br>※    | はら だ いつき<br>原 田 斉<br>(昭和30年8月5日生)   | 昭和55年3月 当社入社<br>平成8年10月 東莞石龍京セラ光学有限公司（現 東莞石龍京セラ有限公司）経理部長<br>平成22年4月 当社グローバル統括監査部長 [現在]                                                                           | 361株           |
|           | 監査役候補者とした理由                         | 原田 斉氏は、長年、経理部門を経験し、その後、グローバル統括監査部門において統括監査部長を務め、財務及び会計に関する相当程度の知見を有するとともに、内部監査部門においても豊富な経験と高い見識を有していることから、当社監査役として企業活動全般にわたる監査が期待できると判断し、監査役候補者いたしました。           |                |
| 3<br>※    | さか た ひとし<br>坂 田 均<br>(昭和28年1月22日生)  | 昭和60年4月 弁護士登録、京都弁護士会所属 [現在]<br>平成7年7月 御池総合法律事務所パートナー就任 [現在]<br>平成22年2月 ケンブリッジ大学法学部客員研究員<br>平成23年4月 同志社大学大学院司法研究科（同志社大学法科大学院）教授就任<br>平成25年6月 日本新薬(株) 社外取締役就任 [現在] | 0株             |
|           | 社外監査役候補者とした理由                       | 坂田 均氏は、弁護士としての豊富な経験と高い見識を有するとともに、会社法をはじめとする企業法務に加え、海外の知的財産分野にも精通しており、グローバルに事業展開する当社の社外監査役として企業活動全般にわたる監査が期待できると判断し、社外監査役候補者いたしました。                               |                |

| 候補者番号  | 氏名<br>(生年月日)                        | 略歴、地位及び重要な兼職の状況                                                                                                                  | 所有する当社株式の数 |
|--------|-------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|
| 4<br>※ | あき やま まさ あき<br>秋山正明<br>(昭和20年1月4日生) | 昭和43年10月 監査法人富島会計事務所(現 新日本有限責任監査法人)入所<br>昭和48年3月 公認会計士登録<br>平成22年9月 (株)ジョイフル本田社外監査役就任 [現在]<br>平成23年4月 ユナイテッド・アーバン投資法人監督役員就任 [現在] | 0株         |
|        | 社外監査役候補者とした理由                       | 秋山正明氏は、公認会計士として、財務及び会計に関する相当程度の知見並びに豊富な経験と高い見識を有していることから、当社社外監査役として企業活動全般にわたる監査が期待できると判断し、社外監査役候補者いたしました。                        |            |

- (注) 1. 候補者番号欄の※印は、新任の監査役候補者であります。
2. 当社は、監査役候補者 西枝 攻氏と顧問弁護士契約を交わしております。その他の監査役候補者と当社との間に特別の利害関係はありません。
3. 監査役候補者の所有する当社株式の数は、平成28年3月31日現在のものであります。この株式数には、京セラグループ役員持株会及び京セラ自社株投資会における本人の持分を含めております。
4. 社外監査役候補者に関する事項は、以下のとおりであります。
- (1) 坂田 均及び秋山正明の両氏は、社外監査役候補者であります。
  - (2) 秋山正明氏は、直接会社経営に関与された経験はありませんが、公認会計士として企業会計に精通されており、当社社外監査役としての職務を適切に遂行いただけるものと判断しております。
  - (3) 坂田 均及び秋山正明の両氏の選任が承認された場合には、当社は、会社法及び当社定款の規定により、両氏との間に、任務を怠ったことによる損害賠償責任を限定する契約を締結する予定であります。当該契約に基づく責任の限度額は、法令に定める最低責任限度額であります。
  - (4) 坂田 均及び秋山正明の両氏の選任が承認された場合には、当社は両氏を、東京証券取引所が定める独立役員に指定する予定であります。

以 上

## 「インターネット等による議決権行使のお手続きについて」

インターネットにより議決権を行使される場合は、下記事項をご確認のうえ、行使していただきますようお願い申し上げます。

当日ご出席の場合は、書面（議決権行使書）またはインターネットによる議決権行使のお手続きはいずれも不要です。

### 記

#### 1. 議決権行使サイトについて

- (1) インターネットによる議決権行使は、パソコン、スマートフォンまたは携帯電話（EZweb、iモード、Yahoo!ケータイ）から、**当社の指定する議決権行使サイト（<http://www.evotage.jp/>）**にアクセスしていただくことによつてのみ可能です。（ただし、毎日午前2時から午前5時までは取り扱いを休止いたします。）

次の「QRコード」からも議決権行使サイトにアクセスいただけます。  
バーコード読取機能付きスマートフォンまたは携帯電話で、次の「QRコード」を読み取り、議決権行使サイトにアクセスしてください。

アクセス用QRコード



（注）「EZweb」はKDDI㈱、「iモード」は㈱NTTドコモ、「Yahoo!」は米国Yahoo! Inc.、「QRコード」は㈱デンソーウェーブの商標または登録商標です。

- (2) パソコンまたはスマートフォンによる議決権行使は、インターネット接続にファイアウォール等を使用されている場合、アンチウイルスソフトを設定されている場合、proxyサーバーをご利用の場合、TLS暗号化通信を指定されていない場合等、株主様のインターネット利用環境によっては、ご利用できない場合もございます。
- (3) 携帯電話による議決権行使は、EZweb、iモード、Yahoo!ケータイのいずれかのサービスをご利用ください。また、セキュリティ確保のため、TLS暗号化通信及び携帯電話情報の送信が不可能な機種には対応していません。
- (4) インターネットによる議決権行使は、平成28年6月23日（木曜日）の午後5時30分まで受け付けいたしますが、お早めに行使してください。なお、ご不明な点等がございましたらヘルプデスクへお問い合わせください。

【次頁に続く】

## 2. インターネットによる議決権行使方法について

- (1) 議決権行使サイト（<http://www.evotep.jp/>）において、議決権行使書用紙に記載された「ログインID」及び「仮パスワード」をご利用いただき、画面の案内に従って、前記1.（4）の行使期限までに議案に対する賛否をご入力ください。
- (2) 株主様以外の第三者による不正アクセス（“なりすまし”）や議決権行使内容の改ざんを防止するため、ご利用の株主様には、議決権行使サイト上で「仮パスワード」の変更をお願いすることになりますのでご了承ください。
- (3) 株主総会の招集の都度、新しい「ログインID」及び「仮パスワード」をご通知いたします。

## 3. 議決権行使サイトへのアクセスに際して発生する費用について

議決権行使サイトへのアクセスに際して発生する費用（インターネット接続料金・電話料金等）は、株主様のご負担となります。また、スマートフォンまたは携帯電話をご利用の場合は、パケット通信料・その他スマートフォンまたは携帯電話利用による料金が必要になりますが、これらの料金も株主様のご負担となります。

### <機関投資家の皆様へ>

議決権行使の方法として、株式会社I C Jが運営する「議決権電子行使プラットフォーム」をご利用いただけます。

以 上

議決権行使サイトのご利用に関するお問い合わせ先

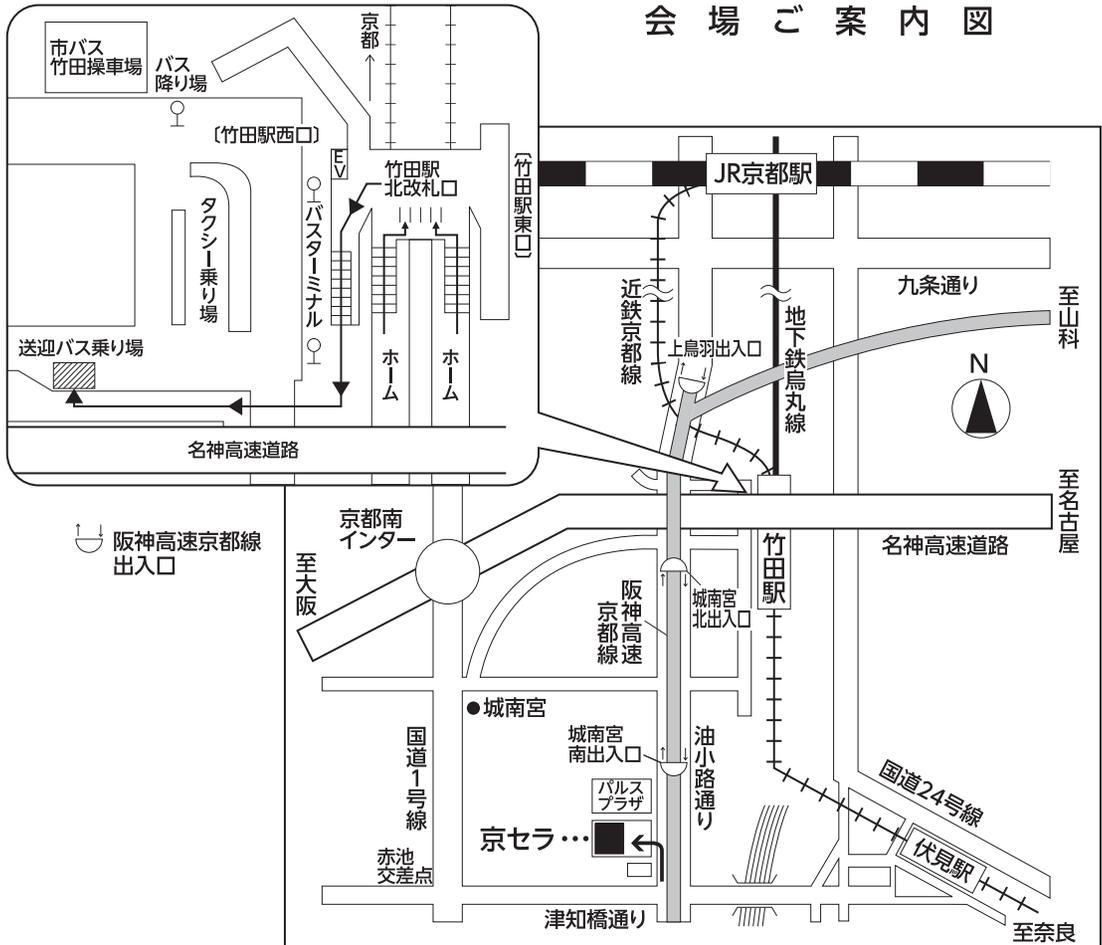
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部（ヘルプデスク）

電話 0120-173-027

（受付時間 9：00～21：00、通話料無料）

MEMO

# 会場ご案内図



## ○交通機関

- ・地下鉄烏丸線または近鉄京都線「竹田駅」(京都駅からの所要時間6～9分)から送迎バスを運行いたします。  
4番出口(北改札口を出て西口側)から送迎バス乗り場まで係員がご案内いたします。  
(お願い)送迎バスは午前9時から順次出発いたします。交通渋滞等により会場まで時間を要する場合がありますので、余裕をもってお越しください。  
竹田駅10時20分発が最終となります。
- ・「竹田駅」から徒歩の場合は約18分。路線バスをご利用の場合は、「パルスプラザ前」下車(所要時間約5分)、徒歩約1分。
- ・近鉄京都線「伏見駅」から徒歩の場合は約15分。

- お車でのご越しの方は、上記案内図の矢印(→)の方向から構内に入り、地下駐車場をご利用ください。



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。



環境に配慮し、植物油インキ  
を使用しております。